

守っていきたい大原の希少な昆虫

自然が豊かな大原には希少な昆虫がたくさんいます。ここではレッドリストに記載されている昆虫を紹介します。レッドリストとは、環境省や都道府県が指定した絶滅の恐れのある野生生物のリストです。見つけたら、大原のオオムラサキを守る会会員や学校の先生に教えてください。写真も撮れたらお願いします。

アオハダトンボ：準絶滅危惧（環境省）

高野川のヨシ原にいます。ハグロトンボと似ていますが、オスは羽に金属光沢があり、メスは羽の



2009. 6. 27

先の方に白い斑紋があります(写真)。5月中旬～7月下旬、6月に多い。体長 55～62mm。

ムカシヤンマ：準絶滅危惧種（京都府）

動きはゆっくりで、日当たりのよい場所によく止まります。谷沿いの道を歩いていると発見でき



2014. 6. 17

ます。胸にハートマークがあるのが目印です。4月下旬～7月頃。体長 63～72mm。

ミヤマアカネ：準絶滅危惧種（京都府）

水田や里山の小さな流れのある場所にいます。飛び方はゆっくり、すぐに止まります。美しいアカトンボ

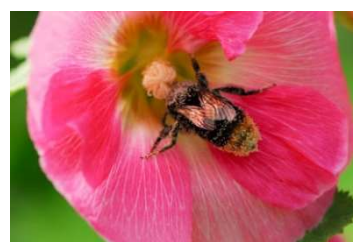


2014. 9. 16

です。羽の模様の特徴があるので見分けやすい。6月下旬～。体長 32～39mm。

クロマルハナバチ：絶滅危惧種（京都府）

黒く短い毛におおわれ、ビロード状。いろいろな花の蜜を吸いにやってきます。数はとても少ない。



2010. 7. 5 高島市朽木

4月下旬～11月初旬。体長 12～23mm。

トラマルハナバチ：準絶滅危惧種（京都府）

オレンジ色の毛が目立つ大きなハナバチです。いろいろな花の蜜を吸いにやってきます。4月下旬～11月上旬。体長 10～26mm。



2013. 10. 4 大津市栗原

キマダラルリツバメ：準絶滅危惧種

（京都府）

尾が2対4本ある日本唯一の種です。幼虫はサクラの古木にいるアリと共生するために、その近くに咲くヒメジ



2023. 6. 28

ョオンで蜜を吸っているのを見かけます。6月中旬～下旬。前翅長 15～18mm。

オオムラサキ：準絶滅危惧種（京都府）

大原で保護活動をしているチョウです。国蝶。大きくて美しく里山を象徴するこのチョウが増え



2024. 7. 3

ていくことを願っています。6月下旬～8月上旬。前翅長 45～60mm。

ハンミョウ：絶滅危惧種（京都府）

日当たりのよい山道を歩いていると、先へ先へと飛ぶので、ミチオシエとよばれる美しい甲虫で



2022. 5. 7 大津市栗原

す。大きな牙を持っていて、昆虫などを捕らえます。春～秋。体長 18～20mm。

その他の注目すべき昆虫

ムスジイトトンボ

流れの穏やかな河川に住んでいます。草生川で見つかりました。5月中旬～10月上旬。体長 30～38mm。



2005. 6. 11

オオイシアブ

無骨な印象のムシヒキアブの仲間。森林に住んでいます。5月～7月。体長 15～26mm。



2007. 5. 26

ケラ

地中に住んでいます。畑に普通にいますが、数が減ってきました。4月～9月。体長約 30mm。



2006. 4. 30

アオメアブ

生きているとき、眼は青緑色に輝いています。大型のムシヒキアブの仲間。6月～8月。体長 20～29mm。



2006. 7. 9

カマキリ

チョウセンカマキリとも言います。オオカマキリによく似ています。8月～11月。体長 70～82mm。



2008. 10. 4 大津市清風町

ゲンジボタル

日本最大のホタル。高野川に住んでいますが、水質悪化で減少がとて心配です。5月～7月。体長 10～16mm。



2007. 5. 26